CO-CONV ライセンス サーバー 2023 年 8 月版 ユーザー ガイド

株式会社 シー・オー・コンヴ

2024 年 1 月 9 日 15 時 42 分版

目次:

第 1 章

概要

1.1 CO-CONV ライセンス サーバーについて

CO-CONV ライセンス サーバーは CO-CONV が提供する各種製品のライセンス情報を管理します。

CO-CONV ライセンス サーバー 2023 年 8 月版が対象とする製品は次の通りです。

- CO-Colors ほたて 2023 年 8 月版
- CO-Colors ほたて 2022 年 1 月版
- CO-Colors ほたて 2021 年 8 月版
- CO-Colors ほたて 2021 年 1 月版
- CO-Store 5.0
- ReadCache 5.0
- CO-Spray 5.0

1.2 動作環境

OS	Windows Server 2016 / 2019 / 2022
ソフトウェア	ASP.NET Core Runtime 6.0
ネットワーク	TCP 49168 番ポート (デフォルト値) において接続を待機 (Web ブラウザーや各製品のサーバー モジュールから接続)。

第 2 章

インストール

2.1 導入先サーバーの決定

CO-CONV ライセンス サーバーは、CO-CONV 製品のサーバー モジュールから通信できるサーバー上にインストールしてください。各製品のサーバー モジュールと同一のサーバーにインストールしていただいてもかまいません。

2.2 旧バージョンのアンインストール

旧バージョンの CO-CONV ライセンス サーバーが導入されている場合は、先に旧バージョンをアンインストールします。

[プログラムと機能] から **[CO-CONV ライセンス サーバー 202x.x.x.x]** を選択して、**[アンインストール]** ボタンを押してください。

2.3 ASP.NET Core Runtime のインストール

ASP.NET Core Runtime 6.0 の Hosting Bundle を導入してください。

https://dotnet.microsoft.com/en-us/download/dotnet/6.0 から Windows 向けの最新バージョンの **[Hosting Bundle]** をダウンロードして導入してください。

2.4 ライセンス サーバーのインストール

導入先のサーバーに管理者でログオンして、LicenseServer64.msi を実行してインストールします。

ヒント: インストール時に「サービス 'CO-CONV ライセンスサーバー' (CoConvLicenseSevice) を開始できません

でした」というエラーが表示された場合、次の点を確認してください。

- 管理者権限でインストーラーを実行しているかどうか。
- ASP.NET Core Runtime 6.0 が正しく導入されているかどうか。コマンド プロンプトで `dotnet --list-runtimes` を実行して、`Microsoft.AspNetCore.App 6.0.xx` や `Microsoft.NETCore.App 6.0.xx` といった行が表示されることを確認します。

メモ: LicenseServer64.msi はインストール時に次の処理を実施します。

- C:\Program Files\CO-CONV\LicenseServer に実行ファイルをコピーします。
- C:\ProgramData\CO-CONV\LicenseServer\license フォルダーを作成します。
- スタートメニューに **CO-CONV ライセンス サーバー** を登録します。
- サービスに **CO-CONV ライセンス サーバー** を登録します。
- Windows ファイアウォールに対して受信の規則 **CO-CONV ライセンス サーバー** を追加します (49168 番ポートでの TCP 受信を許可します)。

TCP 49168 番ポートに対して、各製品のサーバーから TCP 49168 番ポートでアクセスできるように設定してください。

2.5 各製品の設定方法

各製品においてライセンス サーバーを指定する方法については、各製品のインストール マニュアルを参照してください。

第 3 章

利用方法

3.1 ライセンス サーバーへのログイン

スタートメニューから **CO-CONV ライセンス サーバー** を選択します。もしくは、Web ブラウザーで https://localhost:49168/ を開きます。

セキュリティー証明書のエラーが表示されるので、**[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)]** を選択してページを開きます。

メモ: 証明書のエラーが表示されないようにするには **証明書の警告を抑止する手順** の手順を実施してください。

CO-CONV ライセンスサーバーのログイン画面が表示されます。インストーラーを実行した Windows のアカウントのユーザー名、パスワードを入力して、**[ログイン]** ボタンを押します。

メモ: ブラウザーの **優先言語** が日本語になっていない場合、画面は英語で表示されます。日本語での表示をご希望の場合は、ブラウザーの優先言語の設定をご確認ください。

Tips: ログインに利用するアカウントを追加する手順は **アカウントの追加方法** をご覧ください。

画面の下部に表示されている **サーバー ID** を確認します。

3.2 ライセンスの導入

3.2.1 ライセンス ファイルのダウンロード

> **注意:** この作業はインターネットに接続できる環境で実施してください。

1. https://license.co-conv.jp/ にアクセスして、当社から提供されたシリアルキーを入力します。
2. ライセンスサーバーの **[追加する]** ボタンを押します。サーバー名は任意の値を入力します。**サーバー ID** には先ほど確認した値を入力します。**[追加]** ボタンを押します。
3. **[ライセンス数変更]** ボタンを押して、利用したいライセンス数を設定してください。
4. **[ダウンロード]** ボタンを押して、ライセンスファイルをダウンロードします。

3.2.2 ライセンス ファイルの導入

1. CO-CONV ライセンスサーバーを導入したサーバーにログインします。
2. ダウンロードしたライセンスファイルを `C:\ProgramData\CO-CONV\LicenseServer\license` に配置します。
3. CO-CONV ライセンスサーバーを Web ブラウザーで開いて、ダウンロードしたライセンスの情報が表示されていることを確認します。

第 4 章

環境設定

4.1 アカウントの追加方法

CO-CONV ライセンスサーバーにログインできるアカウントは、デフォルトではインストーラーを実行した Windows のアカウントに限定されています。

他の Windows のアカウントでもログインできるようにするには、次の手順で設定します。

1. CO-CONV ライセンスサーバーにログインします。
2. 右上の **[管理]** ボタンを押します (ボタンがない場合は管理者権限がないアカウントです。管理者権限があるアカウントでログインしてください)。
3. **[追加]** ボタンを押します。
4. ユーザー名とアカウントの種類を設定して **[追加]** ボタンを押します。

この管理画面からアカウントの編集・削除も実行できます。

ドメインユーザーでライセンスサーバーをインストールした場合は、認証に利用できる Windows アカウントはドメインユーザーのみです。逆に、ローカルユーザーでインストールした場合はローカルユーザーのみです。ドメイン・ローカルのどちらで認証するかを切り替えたい場合は対象のユーザーで再インストールしてください。

4.2 ポート番号の変更方法

ポート番号を変更するには `C:\ProgramData\CO-CONV\LicenseServer\appsettings.json` を管理者権限で起動したテキスト エディターで開いてください。

4 行目あたりでポート番号が指定されています。

```
1 {
2   "Network": {
```

(次のページに続く)

(前のページからの続き)

```
    // 待機するポート番号
    "Port": 49168,

    // 証明書のパス
    "CertPath": "%ProgramData%\\CO-CONV\\LicenseServer\\DefaultCert.pfx",

    // 証明書のパスワード
    "CertPassword": "1ic3nc3!"
  }
}
```

このポート番号を書き換えて、ファイルを保存してください。

サービスから **[CO-CONV ライセンス サーバー]** を再起動すると新しいポート番号で動作するようになります。ポート番号を変更した場合は、各製品で設定しているライセンスサーバーのポート番号も併せて変更してください。

4.3 SSL 証明書の変更方法

CO-CONV ライセンス サーバーは、デフォルトではサブジェクト代替名 (SAN) が `localhost` となっている自己署名証明書を利用しています。そのため、信頼されたルート証明機関にライセンスサーバーに証明書を追加したとしても、Web ブラウザー上には証明書の警告が必ず表示されます。

証明書のエラーが表示されないようにするためには、CO-CONV ライセンスサーバーにアクセスする DNS 名を準備した上で、CO-CONV ライセンス サーバーが利用するサーバー証明書を変更してください。

証明書の作成手順

最初に、サーバー証明書 (PFX 形式) を準備します。

無償・有償の証明書発行サービスや組織内の CA を利用する場合には、発行された証明書を利用します。PEM 形式などで提供された場合には、PFX 形式に変換してください。

自分でルート CA を準備する場合は、PowerShell で証明書を作成する を参照して、サーバー証明書 (子証明書) の PFX ファイルを作成してください。

メモ: サーバー証明書 (子証明書) の `-DnsName` には、サーバーの DNS 名を指定してください。IP アドレスを利用すると、ブラウザーで表示したときに警告が表示されます。

利用する証明書の変更手順

CO-CONV ライセンス サーバーが利用する証明書を変更するには、C:\ProgramData\CO-CONV\LicenseServer\appsettings.json を書き換えます。

管理者権限で起動したテキスト エディターで appsettings.json を開いてください。証明書のパス (CertPath) とパスワード (CertPassword) を作成した証明書の情報で置き換えて、保存します。

たとえば、前述の手順で作成した証明書の場合は次のように編集します (\ は \\ に置き換えて記述してください)。

```
{
  "Network": {
    // 待機するポート番号
    "Port": 49168,

    // 証明書のパス
    "CertPath": "%ProgramData%\\CO-CONV\\LicenseServer\\MyCert.pfx",

    // 証明書のパスワード
    "CertPassword": "MyPassword"
  }
}
```

サービスから **[CO-CONV ライセンス サーバー]** を再起動すると、新しいサーバー証明書を利用して動作するようになります。自分でルート CA を作成した場合は、ブラウザーを利用する端末において **証明書の警告を抑止する手順** の手順を実施してください。

4.4 証明書の警告を抑止する手順

証明書の警告を抑止するためには、事前に *SSL* **証明書の変更方法** を参照して、サーバー側で SSL 証明書を変更してください。

ルート CA を自分で作成した場合には、クライアント端末において、次の手順で CA を信頼するように設定します。

1. *SSL* **証明書の変更方法** で作成したルート CA または中間 CA の証明書 (crt ファイル) を端末上の任意の場所に配置します。
2. 証明書をダブルクリックします。
3. **[証明書のインストール]** をクリックします。
4. 証明書のインポートウィザードにおいて、**[現在のユーザー]** を選択して **[次へ]** を選択します。
5. **[証明書を次のストアに配置する]** を選択して、**[参照]** ボタンから **[信頼されたルート証明機関]** (ルート CA のとき) または **[中間証明機関]** (中間 CA のとき) を選択して **[OK]** を押します。
6. **[次へ]** **[完了]** の順にクリックします。

7. インストールの確認に対して **[はい]** を選択します。
8. 証明書ファイルを削除します。

Web ブラウザーで開きなおすと、警告が表示されなくなります。

メモ: ルート CA または中間 CA の証明書は、次の手順でダウンロードすることもできます。

1. CO-CONV ライセンス サーバーを Google Chrome または Edge で開きます。
2. アドレスバーの **[保護されていない通信]** をクリックします。
3. **[証明書が無効です]** をクリックします。
4. 証明書ビューアの **[詳細]** タブを開きます。
5. **[証明書の階層]** からルート CA または中間 CA を選択して、**[証明書のフィールド]** で指紋が正しいかどうか確認します。
6. **[選択した証明書をエクスポート]** をクリックして、保存先を選んで、**[保存]** をクリックします。

4.5 ログ出力について

ライセンスサーバーの動作ログは `C:\ProgramData\CO-CONV\LicenseServer\log` に出力されます。ライセンスサーバーの起動に失敗する場合や、ライセンス認証に失敗する場合は、ログファイルをご確認ください。

株式会社 シー・オー・コンヴ

CO-CONV ライセンス サーバー 2023年8月版 ユーザー ガイド

2024 年 1 月 9 日 15 時 42 分版

(ID: 425f338)